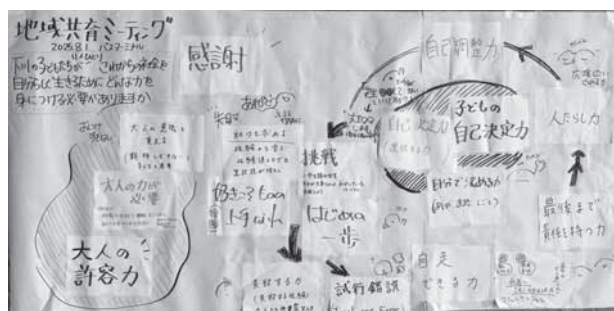


幼・小・中・高の先生方、地域の方々と、下川の子どもたちに身につけてほしい力を語る

地域共育ミーティング

8月1日、バスターミナルにて地域共育ミーティングが開催されました。「下川町地域共育ビジョン」の推進を目的に毎年夏に行われ、今年は「下川の子どもたちに身につけてほしい力」をテーマに幼・小・中・高の先生方、地域の方29名が参加しました。

教育目標づくりに活かすことを念頭に、グループメンバーを変えながら、幼小中高、地域や家庭での子どもたちの様子を交流し、エピソードなども共有しながら考えを深めました。各グループからの発表では、「自己決定力」が重要ではないかと複数から出て、それに関連する形で、初めの一步を支援する必要性や、失敗したり試行錯誤できる力、自己調整をしながら、最後まで責任を持つ力などが挙げられました。また、それを支える、こどもを尊重した大人の意識や態度が必要という意見もありました。



ドキュメンタリー映画を通じて日本の教育について改めて考える

映画「小学校～それは小さな社会～」上映会

8月1日、午後・夜にドキュメンタリー映画「小学校～それは小さな社会～」の上映会をハピネスにて開催しました。この映画は、東京都世田谷区の公立小学校の様子を長期にわたって取材したもので、海外で注目されている「TOKKATSU（日本式教育）」がテーマとなっています。

上映会には、昼の部18名、夜の部に29名、合計47名が参加しました。上映後に行われた感想共有では、「子どもの成長してゆく姿からたくさん気づかされるものがあった」「今の学校のルールや厳しさに驚いた」などの声があり、下川の学校・子どもたちの姿への期待については、「子どもたちがのびのびと個性が伸ばせる環境づくり」「子どもが自分で考え行動できる力を育ててほしい」など、意見交換が行われました。



インフォメーション

公民館ロビーにて、皆さんから頂いた意見の記録を展示しています。また、下川小中学校の教育目標策定に向けてのご意見募集の掲示をしています。皆さんの小中学校に向けた想いや願いを聞かせてください。

■お問い合わせ 教育委員会 ☎4-2511 内線516



小中一貫だより No.1

下川小中学校の教育目標の策定に向け、様々な場でいろんな立場の方の声をお聞きしています。今回は、7.8月に行った3つの対話の場の様子をレポートします。小中一貫だよりは、不定期で年3回発信の予定です。

小中学生のアンケートを元に、中学生と学校運営協議会委員が対話

学校運営協議会



7月29日、第2回学校運営協議会が開催され、下川中学校生徒会、学年委員から6名の生徒と学校運営協議会委員7名が参加しました。今回は、子どもたちの思いを活かした教育目標の策定が目的で、小5～中3への事前アンケートを元に話し合いが行われました。

アンケートでは、中学3年生になった時にどのような人になりたいかという問いに対し、「誰にでもやさしく思いやりのある人」や「何でも積極的に考え行動できる人」といった回答がありました。また、これからの社会で活躍するために必要な力として、「コミュニケーション」とあげる回答が多く、「自分で考えて行動する力」や「パソコンや情報を使いこなす力」などが挙げられ、会議の中で共有されました。

その後の対話では、何度かグループメンバーを変えながら、「自分らしくこれからの社会で活躍するために必要な力」について深めていきました。「自分の個性を理解することが大事じゃないか」「コミュニケーションとはキャッチボール。その中で生まれる共感力も大事。」などの意見が出され、活発な議論が交わされました。